

## 平成29年度 学校評価報告書

### 1 本年度の重点目標

<p>重点目標:「生徒一人ひとりの個性が輝く」教育の推進</p> <p>(1)基礎学力の定着と系列学習の充実</p> <p>(2)進路希望達成に導くキャリア教育</p> <p>(3)節度ある学校生活の確立と主体的に行動できる生徒の育成。</p> <p>(4)地域貢献に結びつく連携事業や校外での体験学習の充実。</p> <p>(5)生徒の安全を確保と安心できる環境整備。</p> <p>(6)信頼できる学校と風通しのよい職場。</p>
---

### 2 自己評価結果に対する学校関係者評価

A 達成している B おおよそ達成している C あまり達成していない D 達成していない

評価分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		自己評価結果	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
学習指導	(1) 基礎学力の定着について	B	生徒の興味・関心が高められるような授業を展開すると共に、家庭での学習習慣も確立できるよう指導していく。	B	B
	(2) 系列毎の専門的な学習について	B	系列学習の深化、充実を図り、系列にあった資格取得を奨励するとともに、系列学習を積極的にアピールしていく機会を設ける。	B	B
学校関係者評価委員からの意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力の向上に一層努力してほしい。</li> <li>・生徒の学校評価アンケート「授業に集中できる雰囲気となっている」の質問項目では、3年生になるにつれて肯定的な回答が減少しているため、このことについて分析する必要がある。</li> </ul>			
生徒指導	(1) 基本的な生活習慣の確立と規範意識の醸成、いじめの未然防止について	B	常に社会生活に照らし合わせ指導を行う。こまめな指導を行い改善は早めにさせる。また、協力関係を築くための機会を設け、生徒の観察を組織として行う。	B	B
	(2) 主体的に行動できる生徒の育成について	B	学校行事を見直し、生徒が主体的に参加する学校行事を設定する。生徒会活動、部活動のさらなる活性化を図る。	B	B
学校関係者評価委員からの意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶やマナー、通学態度は良好である。</li> <li>・体育祭の実施は引き続き継続してほしい。</li> <li>・スマートフォンの使用規制について強いルールが必要である。</li> </ul>			
進路指導	(1) 望ましい勤労観・職業観の育成について	B	進路実現を意識した生徒指導や教科指導をするなど、進路行事だけに頼らず、各教員が進路実現を意識して、生徒に接する。	B	B
	(2) 生徒の進路実現を図る進路指導について	A	進路毎の指導体制を構築するだけに留まらず、生徒個人の個性を尊重した丁寧かつ具体的な指導を行う。	A	A
学校関係者評価委員からの意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒との信頼関係を構築し、さらに指導体制の充実を図ってほしい。</li> <li>・就職内定や進学指導など進路未決定者がほとんどいないのはうれしいことである。</li> <li>・女子生徒の職について、事務職希望が多いようだが、総合技術職の方向に変えることはできないか。</li> </ul>			
地域との連携	(1) 他校との連携事業や校外での体験学習の機会の充実について	A	鹿又小学校や水産高校との合同授業、鹿又保育所や介護福祉施設での体験実習、石巻専修大学との連携事業等、地域の教育資源を活用していく。	A	A
	(2) 地域への貢献について	B	「とら・ま・い」を通して地域の方々と交流し、系列学習の成果を地域に還元していくとともに、地域から学び、地域に貢献していく態度を培う。	B	A
学校関係者評価委員からの意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・石巻専修大学、宮城水産高校・楽天球団との連携による「こめぼこ」商品開発・販売等の活動は素晴らしい。</li> <li>・外部に発信できる活動を今後も続けてほしい。</li> <li>・「とらまい」を他の地域でも開催してほしい。</li> <li>・北高は地域との連携や貢献度が高い、今後も継続してもらいたい。</li> </ul>			

### 3 次年度の課題と改善方策

次年度の課題	改善方策
① 学習環境の整備について	平成30年度も引き続き校舎新築工事が継続する。校内における生徒の安全を確保するとともに、仮設校舎の施設・設備の点検を徹底し生徒が安心して学校生活を送ることができるよう学習環境を整備する。
② 不登校生徒に対する対応について	生徒理解に努めるとともに、家庭やスクールカウンセラー、関係機関と連携をとりながら、組織として不登校生徒に対応し支援していく体制づくりを推進する。
③ 総合学科としての魅力ある学校づくりについて	石巻北高校となって8年が経過し、系列学習及び地域に開かれた学校づくりにおいて特色ある教育活動を展開してきた。今後も総合学科として、系列活動を充実を図り地域の方々及び中学生にとって魅力ある学校づくりを推進する。
④ 学校評議員からの提案	自立した人間を造る為の関係者の合意形成について